

令和元年度一般会計 財務諸表に関する注記
(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定率法により減価償却を実施している。

(2) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式で処理している。

2. 特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減及びその残高は、ありません。

3. 固定資産の取得価格、減価償却累計額、除却累計及び期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額、除却累計及び期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	除却累計額	当期末残高
固定資産				
車両運搬具	140,888	133,194	—	7,694
	140,888	133,194		7,694

4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末 残高
未収金	2,341,430	—	2,341,430
合計	2,341,430	—	2,341,430

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
富津市シルバー人材センター運営費補助金	富津市	0	3,000,000	3,000,000	0	—
高年齢者就業機会確保事業等補助金	(公社) 千葉県シルバー人材センター連合会	0	3,000,000	3,000,000	0	—
合計		0	6,000,000	6,000,000	0	

一般会計 収支計算書に対する注記
(平成31年4月1日～令和2年3月31)

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金・未収金・未払金を含めることにしている。
なお前期末及び当期末残高は、2に記載するとおりである。

2. 次期繰収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	2,361,437	3,014,732
未収金	4,343,716	2,341,430
有形固定資産	7,694	7,694
合 計	6,712,847	5,363,856
未払金	5,927,849	4,757,465
預り金	54,377	66,103
短期借入金	2,050,000	1,450,000
合 計	8,032,226	6,273,568
次期繰越収支差額	△1,319,379	△909,712